

以下の現象について、当社確認結果を掲載しています。

マイクロソフト 2015年6月セキュリティ定例パッチ後にリモートアクセスするとクライアントプログラムが正常にインストールできない

現象：2015年6月のマイクロソフト定例パッチを当てた、リモートアクセスのクライアントプログラムをインストールしていないパソコンで新規にリモートアクセスすると、「プログラムがダウンロードできずインストールが正常に完了しない」ため、リモートアクセスできない。

原因：2015年6月のマイクロソフト定例パッチで、IEのセキュリティ更新プログラムの影響によりインストールできない

対策：IEを管理者権限で起動してサーバーにリモートアクセスしてインストールする。

次回以降は、通常のIE起動で問題なくリモートアクセスできる。

■本書ではBB-HNP17での対応手順を記載します。

<対策> ■IEを「管理者として実行」で起動

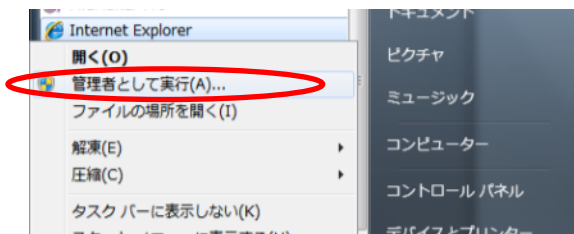
・事前準備としてリモートサーバーのIPアドレスをご確認ください。

IPアドレスがわかっていない場合

→DOSプロンプトにて ipconfig コマンドを実行して調べます。

・一旦、IEの全てのウィンドウを閉じてください。

・タスクバーのIEアイコン+SHIFT+右クリック（もしくはスタートメニューのIEアイコン+右クリック）で表示するメニューから「管理者として実行」をクリックします。



・IE起動後、下記のURLを入力します。

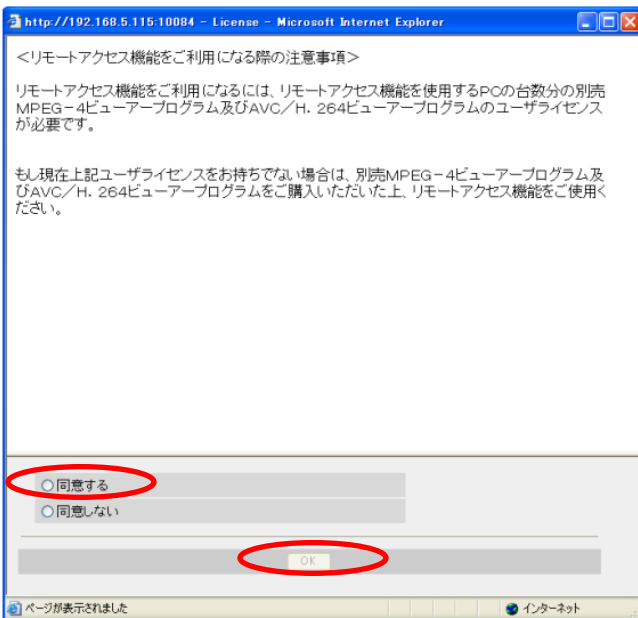
http://(サーバーのIPアドレス):10084/Client/Start

・ユーザー認証画面が表示、サーバー側で設定しているユーザー名、パスワードを入力



・ライセンス認証画面表示

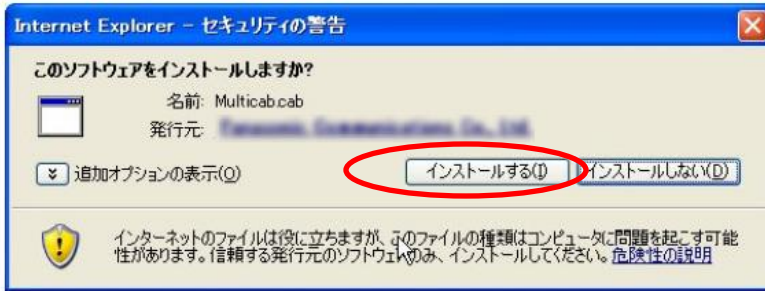
内容確認後、「同意する」にチェックを入れて、「OK」を押す



・リモートクライアントプログラムのインストール画面表示

「インストールする (I)」をクリックする

※Firewallのアクセス許可画面が表示される場合、「許可」ボタンをクリックする



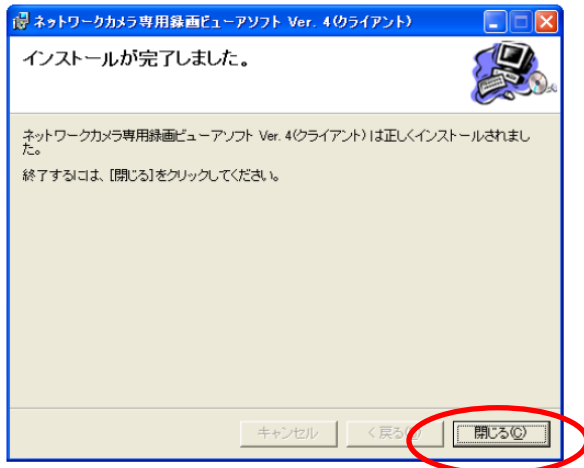
・以降、画面の指示に従ってインストールする

※Firewallのアクセス許可画面が表示される場合、「許可」ボタンをクリックする

・インストール完了の画面表示

「閉じる (C)」ボタンをクリック

※Firewallのアクセス許可画面が表示される場合、「許可」ボタンをクリックする



・リモートクライアントが起動しマルチモニタリング画面が表示される

